


超特選栗を足がかりに 「めざせ1.5億円！東美濃クリ販売額の増加」

超特選栗の取り組みを足がかりに、「もっと生産量を増やしていこう！」と、平成18年8月に「東美濃『クリ地産地消(商)拡大』プロジェクトチーム」(事務局：恵那農林事務所農業普及課)が発足しました。東美濃栗振興協議会・JA・市・県現地機関等一丸となって、産地の拡大・強化に向け活動を開始。以降、栽培促進資料・DVDの制作、栽培見学ツアーや基本技術講習会の実施等による新規栽培希望者の掘り起こし、栽培開始者を対象にした新規栽培チャレンジ塾の実施等による技術向上と仲間づくりを中心に活動を展開。平成31年春までに65.2haの苗木が植栽されました。

そして、平成28年度策定の「産地計画」に掲げた5年後目標「出荷額1.5倍増：出荷金額1.5億円」の達成に向け取り組んでいます。『～3つの元気で地域活性化～「農家が元気」「産地が元気」「地域が元気」』をキーワードに次世代育成や、園地流動化の取り組みなど新たな取り組みも始めています。



出荷区分	超特選栗	一般栗	ぼろたん
出荷可能者	東美濃栗振興協議会員のうち超特選栗部会員 *事前の入会審査が必要(入会時のみ)	東美濃栗振興協議会員	東美濃栗振興協議会員のうちぼろたん部会員 *事前の出荷登録が必要(毎年)
出荷可能品種	胞衣、丹沢、出雲、大峰、筑波、有磨、利平ぐり、石鎚、銀寄、林1号、林2号、えな宝来、えな宝月、美玖里 (林1号、2号、利平ぐりを除き混種可)	全ての品種 (利平ぐりを除き混種可)	ぼろたん 
出荷・選果と出荷の流れ	<p>収穫～自家選果・選別 *病虫害果・不良果の選別</p> <p>毎日出荷 (収穫は出荷日午前or前日午後 水洗いによる浮き果除去 規格→L果以上、M果、梨果で区分)</p> <p>↓ 集荷</p> <p>各地区の集出荷場で選果・選別 (部会員自らのグループ当番制による)</p> <p>↓ 集荷</p> <p>毎日午後3時までに契約作業業者へ納品</p> <p>↓ 出荷</p> <p>JAひがしみの 恵那市内の契約菓子業者へ販売</p>	<p>収穫～自家選果・選別 *病虫害果・不良果の選別</p> <p>JA選果場稼働日に出荷 規格→M果以上一緒に (梨果は区分)</p> <p>↓ 集荷</p> <p>各地区の集出荷場で選果・選別 (部会員自らのグループ当番制による)</p> <p>↓ 集荷</p> <p>JAひがしみの栗選果場にて選果・選別(選果職員による)</p> <p>↓ 出荷</p> <p>選果機にてM、L、2L、3Lの区分に選別</p> <p>↓ 出荷</p> <p>中津川市・恵那市内の菓子業者等へ販売</p>	<p>収穫～自家選果・選別 *病虫害果・不良果の選別</p> <p>ぼろたん出荷日に出荷 規格→M果以上一緒に (出荷可能な黒変果は区分)</p> <p>↓ 集荷</p> <p>各地区の集出荷場で選果・選別 (部会員自らのグループ当番制による)</p> <p>↓ 集荷</p> <p>JAひがしみの栗選果場にて低温貯蔵により高糖度化し、その後、選果・選別</p> <p>↓ 出荷</p> <p>イベントや宅配、業者向けとして県内外に販売</p>
販売単価	過去3年(H28～H30) 平均 903円/kg	過去3年(H28～H30) 平均 708円/kg	過去3年(H28～H30) 平均 1,693円/kg

制作協力：東美濃『クリ地産地消(商)拡大』プロジェクトチーム
東美濃栗振興協議会、JAひがしみの、中津川市、恵那市、
岐阜県中山間農業研究所、岐阜県恵那県事務所、岐阜県恵那農林事務所、一般社団法人 岐阜県農畜産公社
発行：東美濃栗振興協議会(事務局：JAひがしみの 営農販売戦略課 TEL: 0573-78-0137)

東美濃のクリ

岐阜県中津川市・恵那市特産



クリをこよなく愛する職人氣質の農家達が・・・
「低樹高・超低樹高栽培技術」と「ぎふクリーン農業栽培技術」に支えられて・・・
大粒・高品質で、安全・安心なクリを生み出す。



そのクリは、
大切に扱っていただくお菓子屋さんのもとに届き・・・

銘菓「栗きんとん」に生まれ変わって、
ほおぼる人達に、笑顔をもたらす。

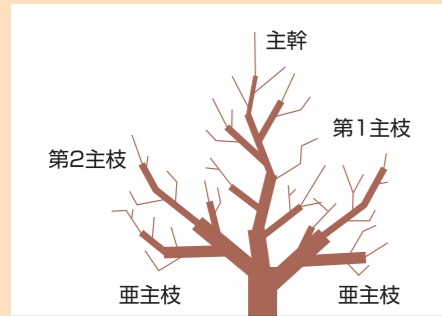


地元お菓子屋さんとのタイアップによる契約出荷クリ「超特選栗」生産の取り組み

生産面 省力で、大粒・高品質なクリ生産が行える、「低樹高・超低樹高栽培技術」を確立

低樹高・超低樹高栽培

- ・剪定法により樹高を抑えるため、低コストでのわい化と省力的な栽培が可能
- ・樹体をコンパクトにし樹勢を維持することで、経済樹齢の延長と高品質な果実の多収化を実現



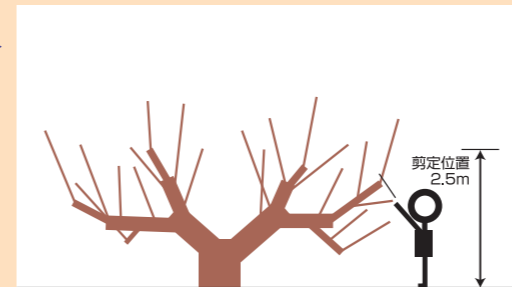
植えて4～6年の若木

樹高を抑えるため、
主幹をカット
(心抜き)



植えて7～14年の生産が盛んな樹

生産力が落ちたら、
主枝をカット
(カットバック)



15年を過ぎると大きなクリがとれなくなるため、超低樹高栽培へ移行

その年に結果した枝をカット



若い母枝を生長させ、翌年結果させる

これを繰り返して樹勢を維持し、大粒のクリを安定生産する

担い手面

栽培技術の普及体制の整備 (剪定士制度等)
産地のクリ生産技術が向上

東美濃栗振興協議会

(H30 出荷実績：173戸、123.1t)
※JA出荷分 (超特選栗・ぼろたんを含む)

超特選栗部会

(H30 出荷実績：75戸、46ha、96.2t)

ぼろたん部会 *イベントや宅配、業者向けで県内外に販売

(H30 出荷実績：44戸、3.5ha、4.5t)

一般栗 *中津川市・恵那市内の菓子業者等へ販売

(H30 出荷実績：98戸、15.5t)

生産者のメリット

- ・契約出荷による安定した所得の確保
- ・生産意欲の向上

超特選栗・契約出荷

市場価格より有利な単価で契約

(JAを窓口として部会のクリをお菓子屋さんと契約取引)

お菓子さんのメリット

- ・基準を高く統一することで、品質の高い原料を入手 (原料ロス率の低下、選別の時間及び人件費の節約)
- ・素材のクリを出荷している農家も栗きんとんをPR (産地全体的に、クリ+栗きんとんを振興)

加工・販売面

お菓子さんは、
地元のクリ生産が衰えることに対して危機感

地元産のクリを新鮮なうちに加工することで上質な栗きんとんの製造が可能

原料入手を他産地から地元へ切替え、
栗きんとんに合う高品質なクリを高単価で買取り

超特選栗を使用した上質の
栗きんとんを製造・販売



超特選栗とは？

※ぎふクリーン農業=堆肥等による土づくりを基本に、従来より化学合成農薬・化学肥料を各30%以上削減した栽培法。

- ・超特選栗部会は、東美濃栗振興協議会の専門部会。内規と生産出荷規定を設定。選考基準該当者が部会員へ
 - ①栽培条件：低樹高・超低樹高栽培&ぎふクリーン農業基準栽培(※)の遵守等 (樹齢6年生以上)
 - ②出荷条件：特定の品種(胞衣、丹沢、出雲、大峰、筑波、有磨、利平ぐり、石鎚、銀寄、林1号、林2号、えな宝来、えな宝月、美玖里)に限定。
 収穫は出荷日午前又は前日午後、無くん蒸、水洗いによる浮き果除去、不良果・病虫害果の選別徹底等
- ・生産されたクリは、「超特選栗」として、地元お菓子屋さんへ「栗きんとん」等の原料向けに契約出荷。

岐阜県東美濃地域は、
「栗きんとん」発祥の地であり、
全国有数の和菓子処。